

第5回フォーラム

生活産業部会

2021年度上期の振り返り並びに今後の展望

2021年9月

2021年度上期の振り返り並びに今後の展望

- ▶ 部会員の動向
- ▶ 建設部門
- ▶ 繊維部門
- ▶ テレワークについて

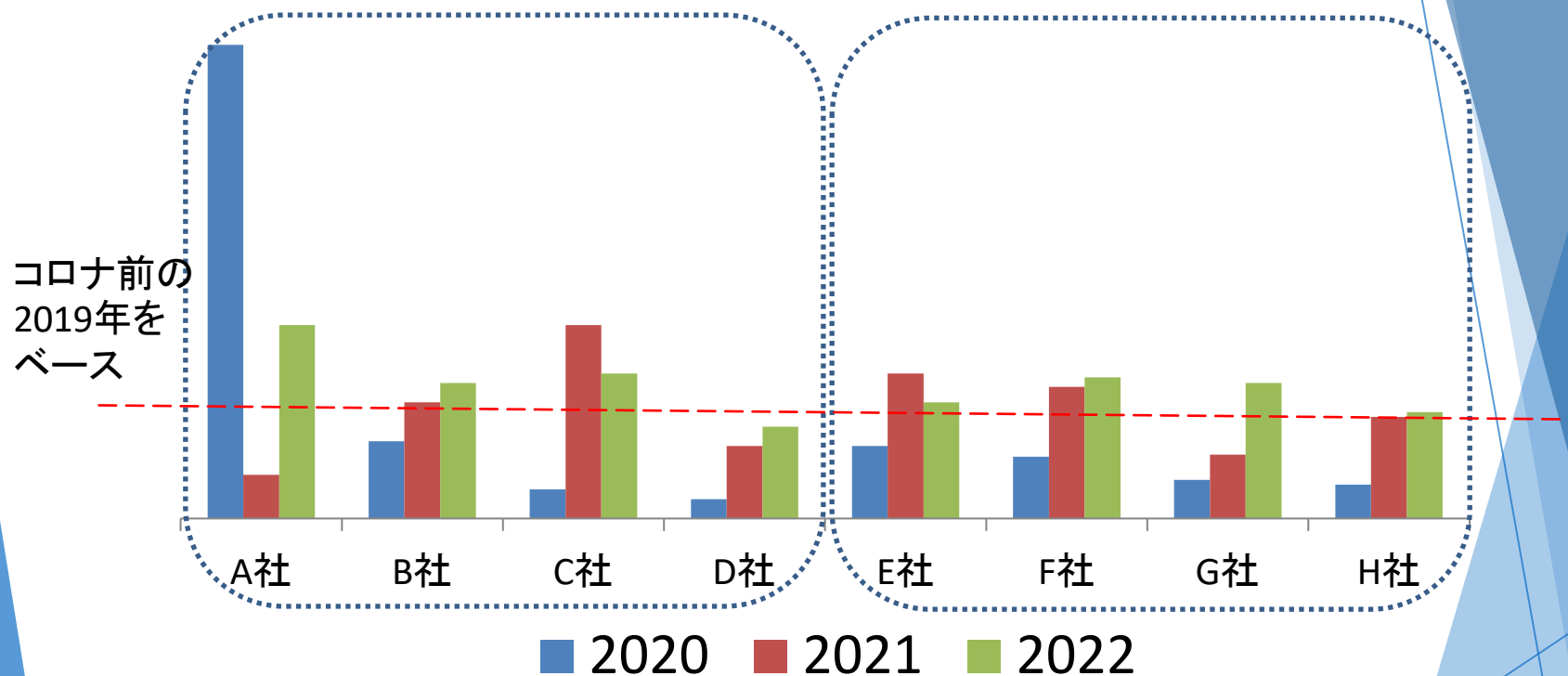
2021年9月
生活産業部会

部会員の動向

2021年9月
生活産業部会

▶ 部会員の動向

上期受注(2020~2022*)



2021年9月
生活産業部会

▶ 部会員の動向（上期の特徴）

▶ 建設

建設資材の不足、価格高騰

コロナ禍の影響（工程、コスト）

▶ エネルギーサービス

新規受注好調

建設資材、輸入機器の価格高騰

▶ 賃貸住宅仲介

コロナ以前の受注水準に回復

テレワーク普及で1部屋増のニーズ

2021年9月
生活産業部会

▶ 部会員の動向（上期の特徴）

▶ 繊維

国際相場の上昇とレアル安で記録的な綿花価格
繊維製品の輸入量減で国内調達への回帰

▶ 衣料小物

コロナ禍により衣料販売低調
原材料価格高騰、輸入コスト増、コンテナ不足
ポストコロナの消費者志向に注視

▶ 複合事業

国際物流の混乱の影響で引き合い増
(購買チャネルの複数化)

2021年9月
生活産業部会

建設部門

2021年9月
生活産業部会

建設業界の動向（GDP）

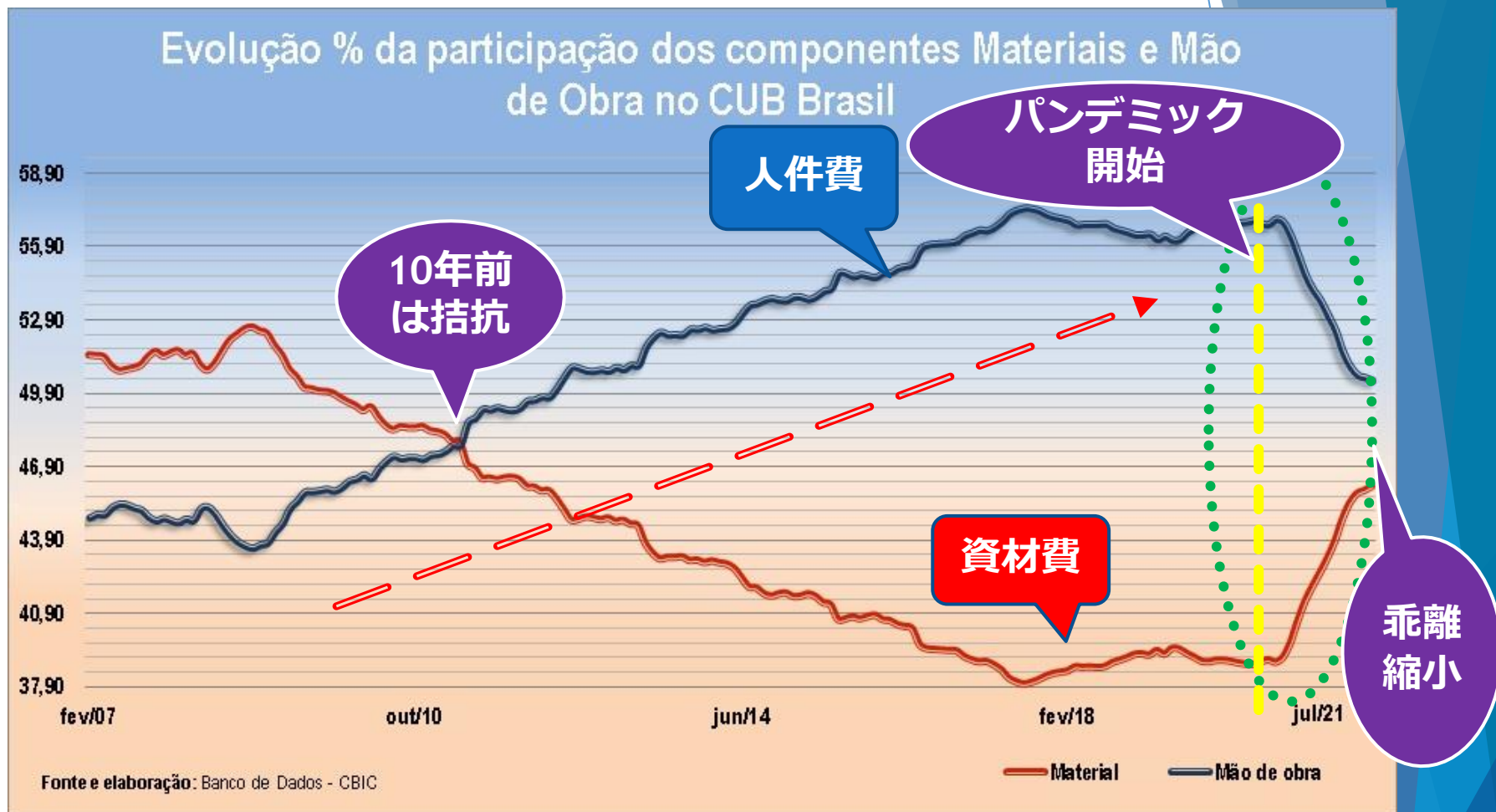


好調なのは住宅建設のみ、
金利引き上げとインフレが懸念

(出所: CBIC)

建設資材価格の高騰

(建設コストにおける人件費と資材費の割合)



景気に関わらず上昇を続ける人件費

人件費上昇を上回る資材価格高騰

(出所: CBIC)

建設資材価格の高騰

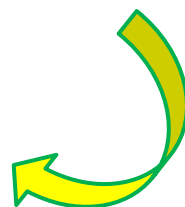
サンパウロ州CUB（2021年7月）

建設コスト R\$1,724.52/m²

	7月	直近12か月
月間上昇率	0.96%	17.46%
人件費	0%	5.99%
資材	2.32%	21.85%

上昇率が最も顕著な資材
(直近12か月)

鉄筋CA-50	86.51%
断熱ケーブル	58.93%
亜鉛メッキ管	55.03%
コンパネ材	45.16%
セメントCPE-32	42.58%
(参考) 人件費	18.32%



鉄材、金属類に
限らず、
プラスチック素
材、砕石、砂、
タイルなども

(出所: SINDUSCON-SP/FGV)

建設資材価格の高騰 (当社データ)

コンクリート (m ³)	上昇率 (2020.3~11)	上昇率 (2021.1~8)	鉄材	上昇率 (2020.3~11)	上昇率 (2021.1~8)
コンクリート15Mpa	12%	13%	鉄筋 6,30 mm.	57%	12%
コンクリート 30Mpa	18%	13%	鉄筋 8,00 mm.	57%	12%
ポンプ生コン 30Mpa	18%	13%	鉄筋 10,0 mm.	57%	12%
ポンプ生コン 40Mpa	18%	13%	釘 18X27 CC	59%	29%
			番線 n ^o 18	49%	35%
			ワイヤーメッシュ 2,45 X 6m	76%	22%

鉄骨、鋼板材	上昇率 (2020.8~11)	上昇率 (2021.1~8)
躯体	16%	8%
サンドイッチ屋根	28%	31%
鋼板屋根	55%	16%

- ・ ペース抑制気味も、引き続き高率推移中
- ・ 早期安定化見込めず

2021年9月
生活産業部会

建設資材価格の高騰

要因

- ・パンデミック
- ・レアル安
- ・世界的な傾向
- ・コモディティ価格の影響（鉄鉱石等）



資材
不足

- ・生産調整
- ・納品遅れ
- ・需給バランス
- ・便乗値上げ



記録的な高騰

2021年9月
生活産業部会

建設資材価格の高騰

建設会社が直面する課題

“TOTAL DESEQUILÍBRIO
DOS CONTRAROS”
(完全なる収支不均衡)

施主との
難しい交渉
(価格スライド)

資材不足と価格
高騰の弊害

- ・ 資材価格高騰→契約履行困難→工事ストップ
- ・ 新規案件でのリスクヘッジ
- ・ 資材不足→工事遅延
- ・ 不動産価格にも影響すると予想される。

2021年9月
生活産業部会

建設業界の今後の展望

- ▶ 他業界の影響受けやすく、企業の設備投資二一ズ次第
- ▶ マンション、物流施設の建設は引き続き好調な半面、金利上昇と資材価格高騰が懸念事項
- ▶ 建設資材の記録的な価格上昇、抑制気味も収束時期不明
- ▶ まだまだ潜在する懸念事項

コロナパンデミック

水不足

リアル安

インフレ

金利引き上げ

大統領選

2021年9月
生活産業部会

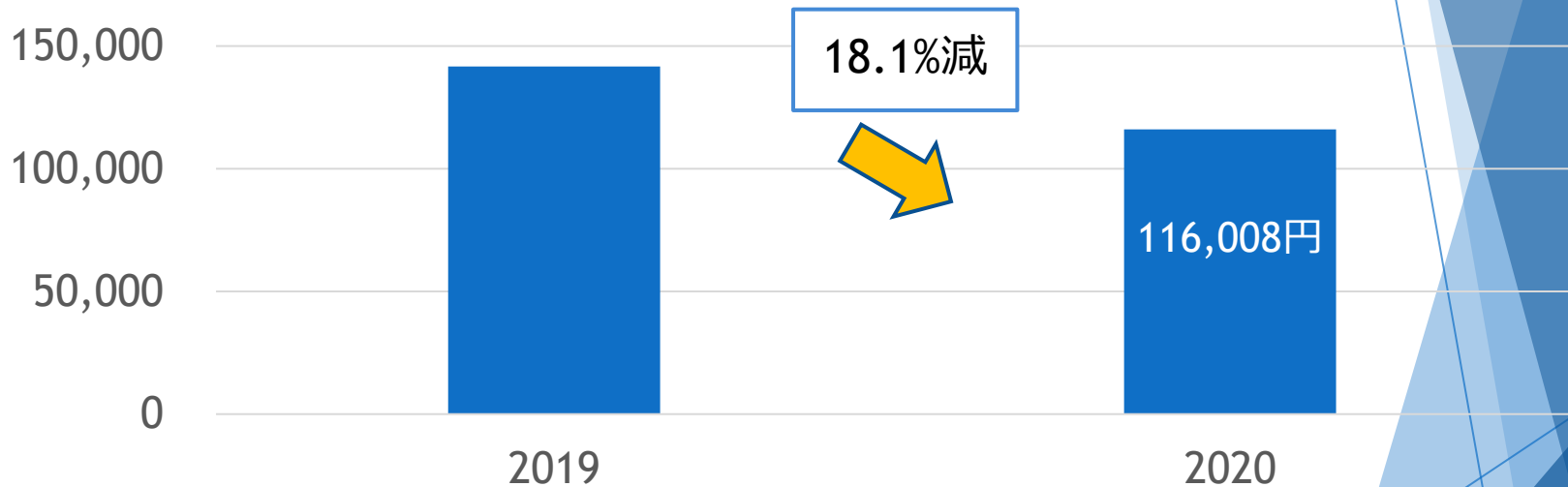
織維部門

2021年9月
生活産業部会

家庭における衣類関連消費動向

経済産業省の“電子商取引に関する
市場調査”

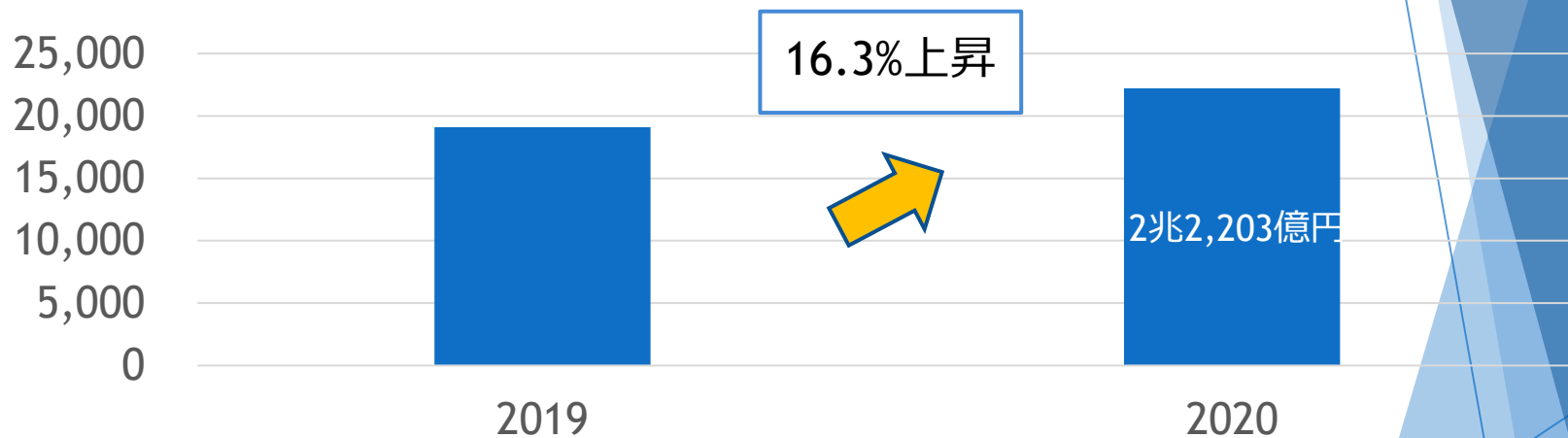
1世帯当たり衣類・雑貨類年間支出（円）



2021年9月
生活産業部会

eコマース比率の拡大

衣類・服装雑貨のeコマース規模（億円）



2021年9月
生活産業部会

コロナ禍における衣料消費

- ▶ 家庭における衣料品消費金額は減少
- ▶ しかしながら、衣料品のeコマースは拡大
- ▶ 外出制限などによる実店舗の不振が顕著
- ▶ 購入対象品目がホームウェアにシフト

2020年年間平均支出（衣料・服装雑貨）

⇒2019年対比 18.1%減

2020年eコマース売り上げ規模

⇒2019年対比 16.3%増

2021年9月
生活産業部会

ブラジルにおける繊維産業

(1) レアル安

メリット：輸入製品の流入阻止

デメリット：原料代の高騰

⇒現状では輸入製品の流入阻止のメリットの方が大きく、国内産業の活性化による堅調な需要

2021年9月
生活産業部会

ブラジルにおける繊維産業

(2) 現在の流れと今後

- ・ 大手アパレルの合併・吸収
⇒生産効率化・販売チャネル拡充（eコマース）
- ・ ホームウェアの高品位化
⇒他人に見られても恥ずかしくない（インスタ映え）
そのまま外出も可能
- ・ 2021年の寒い冬を背景に販売好調・在庫薄
⇒今年末からの冬物生産も順調な滑り出しを予想

2021年9月
生活産業部会

懸念材料

- ▶ 高水準のインフレ率
製品価格上昇
消費者の買い控え
- ▶ 新型コロナウイルス変異株感染拡大
操業規制

2021年9月
生活産業部会

テレワークについて (部会員アンケート)



2021年9月
生活産業部会

実施の実態

実施	対象社員		終了時期	
全社 (7社)	一部社員	6	未定	3
			10～11月	2
	全社員	1	継続	1
			その他	1

2021年9月
生活産業部会

メリットv.s.デメリット

▶ メリット

コロナ感染予防

経費節減（事務所固定費、通勤費）

社員のワークライフバランス、満足度向上

移動時間短縮

業務の効率化

働き方の意識改革

2021年9月
生活産業部会

メリットv.s.デメリット

▶ デメリット

労務管理、評価が困難

職務間の不公平性（内勤社員vs製造/現場社員）

情報共有や理解にずれが生じやすい

新規雇用者の早期離職

新しいアイデアが出にくい

継続or終了?

▶ 終了派

動機付けや効率性が疑問

生産効率がネット環境に左右される

新人教育・引継が困難

▶ 継続派

メリットの方が大きい

デジタル化で事務作業に支障なし

社員の希望（反対なし）

制度の定着/標準化（制度なければ人材集まらない=働き方の多様性確保）



課題

従業員の適正評価、不公平性の改善

継続予定	4社
終了予定	1社
未定	2社

2021年9月
生活産業部会

ご清聴ありがとうございました

2021年9月
生活産業部会